

皮膚科学分野

皮膚科学分野では、自己免疫性水疱症の病態解明や免疫寛容の破たんとの関連性の検討、神経線維腫症1型のカフェオレ斑の発症機序の解明や治療ガイドライン作成、難治性慢性蕁麻疹の病理組織学的特徴の検討など、皮膚に関連した様々な臨床および基礎研究を行っています。

(1) 自己免疫性水疱症の抗原蛋白同定による病態解明と免疫血清学的診断法(診断アルゴリズム)

皮膚の構造と自己免疫性水疱症の分類

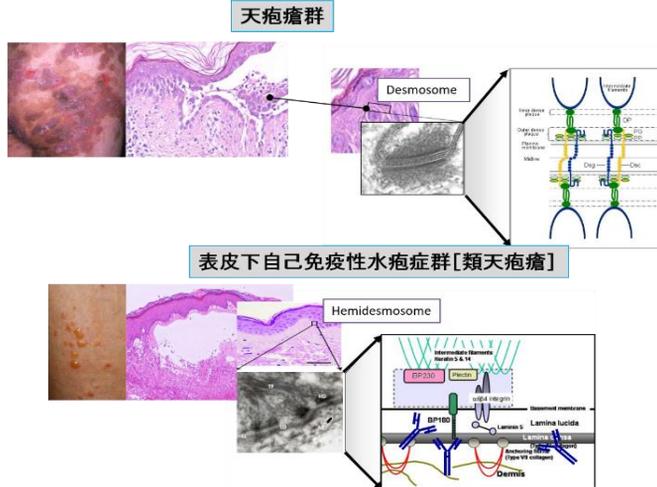
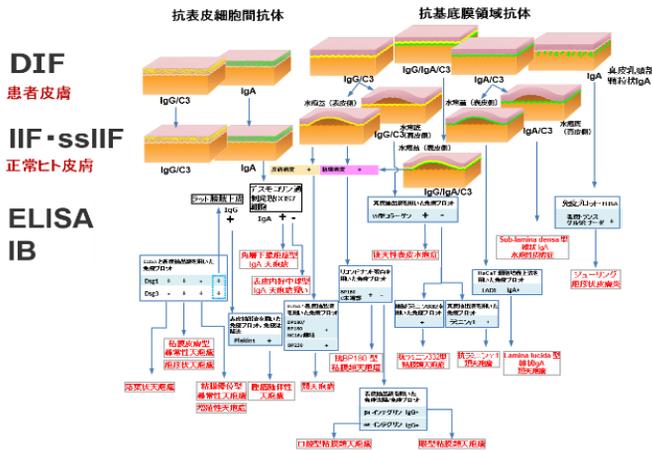


図1 自己免疫性水疱症の診断アルゴリズム: 免疫学的検査のフローチャート



免疫学的検査の各ステップで得られた所見から必要と考えられる検査を行い、得られた結果を総合的に判断して自己免疫性水疱症の確定診断を行う。(筆者作製)

(2) 難治性慢性蕁麻疹の病理組織学的検討

